

| 会 議 記 録 | | | |
|---------|--|----------|------------------------------|
| 会議の名称 | 環境市民厚生常任委員会 | | 会議場所 第1委員会室 担当職員 小野 |
| 日 時 | 令和4年3月23日（水曜日） | | 開 議 午前10時13分 閉 議 午前10時34分 |
| 出席委員 | ◎長澤 ○大塚 富谷 平本 並河 三宅 竹田 西口 | | |
| 理事者出席者 | 【総務部】石田部長 [契約検査課] 中澤課長、宮本主幹 【環境先進都市推進部】山内部長 [環境政策課]服部主任 [環境クリーン推進課]大西課長、西田施設担当課長 | | |
| 事務局 | 小野主任 | | |
| 傍聴者 | 市民 1名 | 報道関係者 0名 | 議員 0名 |

会 議 の 概 要

1 開議

2 事務局日程説明

3 議案審査

[理事者入室] 環境先進都市推進部

(1) 第70号議案 旧亀岡市若宮工場解体工事（その1）請負契約の締結について

<環境先進都市推進部長>

（あいさつ）

<環境クリーン推進課施設担当課長>

（資料に基づき説明）

～10:22

[質疑]

<並河委員>

入札には何社が参加したのか。

<環境クリーン推進課施設担当課長>

3つの共同企業体である。

<並河委員>

落札率は。

<環境クリーン推進課施設担当課長>

89.35%である。

<並河委員>

電子入札で執行したのか。

<契約検査課長>

そのとおりである。

<西口委員>

地下処理槽の適正な処分方法とは、どのような手法なのか。

<環境クリーン推進課施設担当課長>

令和元年度に地下にある水槽内部の清掃を行っており、水槽に残留物はない状態である。今後の作業は、コンクリート構造物の撤去工事のみとなっており、環境対策は十分にできていると考えている。

<三宅委員>

地下の水槽を解体した後に土壌検査を行い、その結果によっては、次の環境対策に移るということでよいか。

<環境クリーン推進課施設担当課長>

土壌調査は、工事着工前に行うこととしているが、工事期間中に土壌汚染が見つかった場合には、汚染されている範囲を特定し、該当箇所の土壌を撤去する方向で、請負業者と調整していくことになる。

[理事者退室] 環境先進都市推進部

4 討論～採決

[討論なし]

[採決]

第70号議案 挙手 全員 可決

5 委員長報告の確認

[長澤委員長 委員長報告朗読]

<長澤委員長>

意見はあるか。

(意見なし)

6 議会だよりの内容について

<長澤委員長>

意見はあるか。

<並河委員>

「賦課限度額を引き上げる」という部分に「高額所得」という文言を加えてはどうか。

<事務局主任>

原稿案を作成するにあたり、所管部署と調整を行ったところ、限られたスペースの

中で制度を全て説明することは難しいということであった。委員から提案があったとおりに記載するのであれば、他の部分も同じように補完する必要があるため、詳細に記載することは難しいのではないかと考える。

<長澤委員長>

この内容で掲載することとしてよいか。

—了—

7 その他

散会～10:34